

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4091400202		
法人名	社会福祉法人 新		
事業所名	グループホーム むろみ		
所在地	福岡市早良区室見5丁目10-34		
自己評価作成日	令和5年3月28日	評価結果確定日	令和5年5月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡市南区井尻4-2-1	TEL:092-589-5680	HP:http://www.r2s.co.jp
訪問調査日	令和5年3月28日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

地下鉄室見駅から徒歩3分と近く、交通アクセスが良いことからお気軽にお立ち寄りできます。また、閑静な住宅街の一角で、室見川も近く、お散歩の際には利用者様に身近に四季を感じていただける恵まれた環境にあります。当法人ではかねてから特別養護老人ホームを運営しており、認知症をはじめとする介護に関する豊富な知識や技術を活かしたサービスを提供いたしております。また、協力医療機関との連携により手厚い医療が受けられることも利用者様やご家族に喜ばれております。当法人は、平成15年5月に開設した特別養護老人ホームの時代から「育ててくれた地域への恩返し」をモットーに運営してまいりました。地域密着型サービスである当グループホームでは、住み慣れた地域で安心して生活ができて、どなたでも気軽に立ち寄ることができる場所やサービスの提供を通して、認知症サポーターの資格を生かし、地域の方々やご家族、子供へ認知症の理解を深めていただけるよう、積極的に講座を開催し、更なる「地域へ

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームむろみ」は平成26年に開設。小規模多機能ホームが併設され2ユニットからなる。地下鉄駅近い閑静な住宅地の一角にあり、室見川が散歩コースになっており、四季の移ろいを感じ取られる。平成15年に開設の特別養護老人ホームを母体とし介護の豊富な知識を有するサービスを提供している。協力医療機関との連携により手厚い医療が受けられ、利用者・家族に喜ばれている。法人は、特別養護老人ホームの時代から「育ててくれた地域への恩返し」の思いが強くある。地域密着型サービスである「グループホームむろみ」は地域に根ざしたサービスを提供することで地域の方が安心して生活でき、どなたでも気軽に立ち寄れる事業所となっている。コロナ禍以前は公民館で認知症サポーター養成講座を開設し、認知症啓発活動を実施しており、地域と馴染みの関係ができています。今後も地域との交流を深め、さらに発展が期待される事業所である。

heisei		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目			
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果					
自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービス事業所として、地域に愛されるような理念で業務を実践していたが、新型コロナウイルスの影響で地域や他者との交流が一切できていない。	理念はグループホーム、小規模多機能の職員が共同で作成した。挨拶や笑顔を大切に地域に愛し・愛されること・季節や自然を感じて頂きみんなで喜びを分かち合うこと・お互いが自然体で接しあえることの3つの柱がある。地域に愛される事業所運営を大切に考え、毎日唱和し、理念の共有ができています。悩んだ時は、理念に立ち返ることで思いを深め、実践に繋がるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で地域行事は参加できていない。	コロナの影響で思うような地域活動はできていないが、状況を確認して、以前のように認知症のサポーター養成講座を開催したり、むろみ小学校で今年開催予定の夏祭りにはぜひ参加したい。公民館の活動も自治会長を介して、以前のように参加し、地域との交流を大切にしたいと考えている。室見川の清掃やごみの回収には参加している。散歩中に地域の方に声をかけてもらうこともあり、地域広報の方が庭で咲いた花を届けてくれる。	活発に地域活動されていたので、ぜひ以前のように地域との交流が図れ、地域と繋がって暮らせることに期待したい。室見川の清掃やごみの回収活動は継続されることも期待している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々が、話し合いの場として施設1Fにある相談室を利用されていたが、新型コロナウイルスの影響で現在はできていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では2ヶ月分の業務実績と業務予定を報告し、これまでの取り組みの中から事例を挙げて意見を伺い、評価を行っていたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で実施できていない。同様の理由で他事業所の運営推進会議にも参加できていない。	2か月に1回運営推進会議を開催していたが、コロナ禍の中の開催はできていない。今後、状況を判断し、以前のように、構成員の方々に出席してもらい、その中で活発な意見をいただくことでサービスの向上に努めたい。自治会長を通し、公民館とも交流を深めていく。	以前のように書面で報告し、意見をいただくことから実践してみてもどうか。ヒヤリハットやレクレーションなどを伝え、質問形式で意見をいただいたり、電話でのやり取りも効果があるのではないだろうか。コロナが収束し再開した折には、参加者の幅を広げてみたり、勉強会などを一緒にしてみたらどうか。運営推進会議の議事録は、家族全員に送付されてみたらどうか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍のなかでどのように運営をしていくかを福岡市と連携して実施できている。	役所にはよく行っており、相談もできている。最近では感染予防の取り組み方について、外部の方が訪問された時の対応の仕方を相談した。介護保険の更新の手続きは、郵送にて行っている。今後も運営会議の開催のお知らせや事業所の実情報告を行い、協力関係を築くように取り組んでいく。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回身体拘束の廃止に関する職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行えていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。現在のところ、身体拘束を行っている利用者はいない。	身体拘束に基づく研修は、担当者を中心にミーティングや会議の中で行われ共通の認識がある。身体拘束について職員は理解している。テーブルから立ち上がりにくい状態について、身体拘束ではないか職員と話し合う機会を作り検討した。スピーチロックについても、気が付いた時点で管理者が注意している。職員間でも注意しやすい環境がある。離接はないが、玄関の施錠は安全を考慮し施錠している。	

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に2回職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。		
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年に2回職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。	成年後見制度を利用している方は現在いないが、今後利用したい方がいれば、管理者が行政につなげるようにする。成年後見制度や権利擁護については、内部研修をおこなっていて職員は理解している。今後ハラスメントについても研修をしたいと考えている。成年後見制度についてのパンフレットや講師についても社会福祉協議会を訪問し相談する。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際はあらかじめ時間に余裕を持って対応しており、十分な説明をして納得を得ている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナウイルスの影響で面会が禁止になり、意見交換の機会が失われたため、ご利用者の状態報告を定期的に行い、その際にご意見を伺っている。3月から面会開始予定。	月1回「むろみ便り」を家族に送り、事業所での生活状況や行事の取り組みなどを写真付きで、知らせている。意見箱は設置しているが投書はない。家族の訪問時に要望や意見は直接聞いている。3月から居室訪問が可能となった事で、管理者や職員は更に関係を深め、本人・家族から要望・意見を聞き取り、運営に反映させている。事業所としてアンケートを取ろうと思う。	事業所によるアンケートをぜひ実施されることを期待する。コロナ禍であるが、事業所での様子や写真付きの催しごとが送られてきて様子が分かり安心して居る。月1度送られてくる笑顔の写真が楽しみ。よくして頂き感謝している。主治医が丁寧に説明してくれ安心して居る。などの喜びの声が第三者外部評価のアンケートにみられる。意見箱には投書がないとの事「むろみ便り」の中に記入用紙を入れる・設置場所の検討・匿名性の確保・などを検討し、あがりにくい意見を吸い上げてみたらどうだろうか。
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていないので、申し送りノートやLINEを使って意見交換している。	月1回の会議やミーティング時に意見、提案が話し合わせられ事業所運営に反映されている。職員は得意分野を生かし行事や係を分担し、活動を通して意見や提案をしている。日常から相談事、意見や提案を相談しやすい環境にあり、職員間もお互いに相談できる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の面談はほぼ行っていないので、申し送りノートやLINEを使って意見交換している。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	面接の際は、年齢や性別に関係なく平等に判断している。また、働いている職員に対しても面談を行い、長所や短所を見極めたアドバイスをおくるなどの配慮をしている。	年齢層は幅広く、アットホームな職場で職員間もコミュニケーションが取れている。職員はレクリエーションで風船バレーをしたり、壁の飾りつけをしたりと得意なことを生かし活躍している。休憩時間、場所は確保されている。資格、研修に関しても参加する機会があり、資格手当もある。希望休やシフトも対応してもらい、資格を取りたいと考えている職員もおり、職場も後押ししてくれる。自己実現の権利が十分に保証され、自己研鑽に励んでいる。	

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年に2回職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。	内部研修は会議やミーティング時に権利擁護、接遇、個人情報、プライバシー保護などの研修を行い、担当者が進めて実施している。職員は人権について理解しており、日常業務でも職員全員で言葉かけなどに注意し、理念を唱和することで人権に配慮した接遇に取り組んでいる。	
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居した際にグループホームでの生活に対する要望や質問を伺っている。また、馴染みの関係を築けるように毎日コミュニケーションをとっている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の前に面談を行っており、その際に要望や質問を伺っている。また、契約の際にも再度確認するようにしている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをとることでニーズを見極めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「お互いが自然体で接し合える」という理念をもとに関係作りに努めている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会ができないことから、電話を使用して、家族とコミュニケーションをとっていただく機会を設けている。		

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居に関する説明を行う際に、これまでの生活環境により近づけることができるように自宅にあるものを居室に持ってきてもらえるように説明を行っている。	これまで大切にしてきた馴染みの関係は、途切れないように支援に努めている。友人の訪問や通っていた定食屋に行ったりしている。友人から電話・手紙が届いている。3月からは居室への訪問が可能となり、利用者の大切な関係が戻ることに期待している。難聴の方にはマグネットボードを使用している。個別対応で職員と一緒に近隣を散歩する。散歩中に近隣の方が声かけをしてくれる。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の自由を尊重しつつも、レクリエーションや行事への参加は全員に声掛けするようにしている。また、利用者同士でのコミュニケーションを円滑に取れるように職員が間に入って会話するようにしている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内の関係施設へ入所された際は、本人や家族のフォローはできている。事業所種別が変わることでの本人へのサービスの違いやその影響についてアドバイスしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所した際にアセスメントをとり、意向の確認をしている。	入居時は施設長、管理者、ケアマネジャーが、自宅、病院、事業所などで、利用者、家族からこれまでの生活歴、好み、やりたいことなどを聞き取る。本人の思いをくみ取り意向に沿うようにしている。入居されてからも本人の意向は確認している。思いを伝えることが難しい方は、表情や仕草などから思いをくみ取るようにしている。職員は1~2名の方を担当しており、情報は管理者・職員全体で共有している。アセスメントは事業所独自のものを利用している。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や本人から話を聞いて生活歴の把握に努めている。また、医療機関や介護施設からの情報提供からも把握している。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日観察し個人記録をつけることで一日の過ごし方や心身状態などの現状を把握している。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の説明の際に、ご家族や本人からの質問や意見を伺い、本人の状態に変化があった際は家族に連絡し、その都度報告している。また、おおむね6ヶ月に1度モニタリングを実施して介護計画に反映させるようにしている。	ケアプランはケアマネジャーが作成している。ミーティングや申し送り時、気が付いた時点で担当者を中心にカンファレンスを行い、情報を共有している。母体の医療機関から毎日、医師が利用者の状態を確認しており、職員全体で情報を共有し、課題、問題点を見直すことができている。利用者、家族の安心に繋がっている。モニタリングと実施記録は紐づいている。担当者会議は本人、家族の意見、要望を聞き取り、医師、看護師など様々な方からの情報を基に、ケアプランに反映し、現状に即した介護計画を作成している。	

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていないので、申し送りノートやLINEを使って意見交換している。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	福岡市外に住所がある方でも、入所できるように柔軟に対応している。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の広報誌の情報をもとに地域資源の活用を検討しているが、現在のところ、これといった実績はない。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の契約の際に、かかりつけ医を確認しており、急変が起きた際の対応についても説明をして納得を得ている。また、通院介助や往診にて利用者の健康管理をしている。	入居の契約時にかかりつけ医を確認しており、適切な医療が受けられるように支援している。事業所の医療体制や提携医が24時間体制であることなどを説明すると、利用者家族から提携医に変更してほしいとの要望が多い。母体法人理事長の医師が毎日訪問しており、状態の確認が細やかにできている。他科受診は管理者が対応している。受診後の情報は職員全員で共有する。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定時の申し送りの際に看護師への報告を行っており、異常が見られた際も適宜報告を行い、適切に対応している。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合には、適宜、医師に状態を尋ねることで現状を把握している。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の契約の際に、看取り介護についての説明を行い意向の確認を行っているが、入所当時には対象の方がおられないことから、実際にターミナルの状態になられた時に再度意向を確認する旨を伝えている。実績あり。	入居時に重度化した時や看取りについては、説明を行い本人、家族の意向は確認している。ターミナルの状態になった時には、医師から説明があり、再度意向の確認を行う。その際には、医師や看護師を中心に担当者会議が行われ今後についての方針を全体で共有する。職員は研修を通して、心構えはできている。	

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に2回職員への内部研修を行う予定になっていたが、コロナ禍で職員の密集を避ける為に今年度の研修や会議はほぼ行っていない。代替えとして動画視聴による研修を行う予定。		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	6月と12に避難訓練を実施し、施設で火災や災害が起こった時の対応を確認した。	緊急時のマニュアルは作成しており、避難訓練の計画書を作り、年2回行っている。火災訓練は消防署の立ち合いのもと行った。職員は百道にある福岡市民防災センターで地震や火災の訓練を受けている。地域の避難訓練にも参加していたが、コロナ禍のため参加できていない。今後参加したいと考えている。備蓄品は水、食料など賞味期限を確認しながら用意している。ハザードマップも公民館からもらっている。	今後、事業所で行う避難訓練に参加してもらったり、地域の防災訓練に参加することを期待している。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	馴染みの関係を築けるように方言を交えながらも人格や誇りを傷つけないように配慮した声掛けを行っている。	個人情報の取り扱い、接遇マナー、プライバシー保護などの研修を行い、職員は理解して人格や誇りを傷つけないように声かけしている。スピーチロックなどに気が付いた時は管理者、職員間でも注意している。利用者のプライバシーにも配慮し、排泄時や入浴時は特に注意することを心がけている。写真、個人情報の取り扱いについては同意を得ている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	家事手伝いや、レクリエーションや体操などの活動において強制的ではなく自己決定できるように形でお誘いしている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	メリハリのある生活や生活リズムを大切にしながらも、基本的には自由に過ごしていただいている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や臥床時の更衣の際は、可能な限りご自身で衣類を選んでいただいている。コロナ禍で散歩以外は外出の機会が無いので化粧や外出着に着替える機会が減っている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	適宜、食事レクリエーションを行っている。その際、一緒に準備をして料理をしている。日々の食事に関しては、主に片づけを一緒にしていただいている。	業者から加工された料理が届き、保温庫で管理し温かい状態で提供している。ご飯は事業所で炊いている。利用者の状態に応じて、ミキサー食・心臓食・糖尿病食など細かく対応している。行事食は豊富で、利用者の希望に沿ってお好み焼き・ちらしずし・焼きそば・綿菓子などできることは利用者と一緒に、楽しい時間を得ている。誕生日には、行きつけのケーキ屋からケーキを届けてもらっている。「むろみ便り」に同封される写真には、利用者の笑顔があり、家族からの喜びの声もある。	

R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師と連携し、食事摂取量やカロリーの調整を行っている。また、可能な限り、自力摂取出来るように必要な器具は、その都度準備している。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔の状態観察は、口腔ケアの際に毎回行っている。その他ほぼ全員が居宅療養管理指導にて毎週1回歯科衛生士が口腔ケアを行い、口腔内の状態を確認している。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	モニタリングの際に排泄の場所や物品の検討をして、可能な限り自分の力で排泄が出来るように支援している。	排泄チェック表により、排泄のパターンを把握して対応している。パッドの大きさの変更を検討したり、本人の排泄のサインを見逃さず、本人の訴えを大切に、トイレに誘導している。排泄の場所や物品の検討も行っており、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便パターンを把握する為に排泄チェック表に記録を残しており、便秘傾向にある方は運動を促し下剤でも調整を行っている。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に2回の入浴をする機会を設けており、現在のところ利用者の希望は聞かれていない為、こちらの都合で行っている。	個浴で週2回、午後から入浴してもらっているが、利用者の状況によって、朝又は夜入浴される方もいる。季節湯を提供したり、シャンプー・ボディソープなど皮膚の状態により使い分けている。入浴を好まれない時には、体調が悪くない限り、声かけを工夫したり、時間をおいて声をかけている。入浴時は皮膚観察とともに、コミュニケーションの場として大事にしている。体重測定を重要にとらえ、利用者の身体状況にあわせ、で月1回、週1回、毎日測定し医師に伝えている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	認知症状で就寝のタイミングが分からない方以外は、自分のタイミングで就寝していただいている。また、安心して眠っていただけるように自宅での環境に近い量を使用していただいている方もいる。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師と連携し、内容に変更があった場合や疑問に思ったことなどは随時確認をとっている。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	室見川が近いことから、天気のいい日は散歩に出かけて四季を感じていただき、気分転換をしていただいている。利用者の趣味を活かせるレクリエーションや毎月食レクリエーションを企画し、取り組んでいる。		



R5.3自己・外部評価表(GHむろみ)確定

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	「花を見に行きたい」「外に出たい」などの希望があり希望を叶えられるよう支援している。通常、外出したいとの希望があった場合は、室見川や近所の公園に外出している。	利用者の希望に沿って、散歩・ドライブ・近くの定食屋に行く・海を見たいなどの希望もあり希望を叶えられるように支援している。個別対応で、お孫さんの結婚式に出席した方もいて喜ばれていた。気分転換に室見川や近隣の公園に散歩に行く機会も多く、地域の方に声をかけられることもあり、地域との交流につながっている。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	していない。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状等の手紙のやり取りをされてある方がおられ、施設に手紙が届いた場合は、利用者へお渡しし、利用者が手紙を書かれた後は、一緒に郵便局へ手紙を持って行くなど、対応している。毎日家族と電話をしている利用者もいた。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を第一に、利用者の方が気持ちよく過ごしていただけるように毎日清掃しており、壁の飾りを工夫することで季節感を感じていただけるよう配慮する。	光が多く入るフロアには、スタッフが作ったさくらの壁飾りが張られ、季節を感じると共に明るい雰囲気にも包まれている。清潔第一と考えており、居室・トイレ・浴室など清潔に保たれている。音、光、温度などは利用者の希望に沿って調節している。トイレは3か所あり、分かりやすく張り紙がしてある。職員が制作した干支のウサギの愛らしいぬいぐるみから、温かさが伝わってくる。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	6人がけのテーブルを2卓と3人がけのソファを配置しており、感染予防のために可能な限り同じ方向を向いて座っていただいている。その際、気の合う方が隣同士に座っていただけるよう配慮している。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居に関する説明を行う際に、これまでの生活環境により近づけることができるように自宅にあるものを居室に持ってきてもらえるように説明を行っている。仏壇やソファなどの家具やいつも使っている毛布や布団を持ち込まれる方が多い。	筆筒・介護ベッド・エアコンは常備されている。利用者が長年愛用したおしゃれな籐のいすが置かれ室内のアクセントになっている。仏壇や机・テレビなどの家具や、今まで愛用していた毛布などを持ってこられている。利用者の好みにレイアウトされていて、自宅のように過ごせるように工夫されている。家族の笑顔の写真に囲まれ、安心して穏やかに過ごされている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所が分かりやすいように張り紙をしたり、利用者の動線に配慮して家具を配置している。		